

平成 24 年度

中堅期保健師コンサルテーションプログラム 実施要綱

1. 事業背景および概要

多様化、複雑化した健康課題の解決のために保健師の活躍が期待されている。特に近年、生活習慣病や自殺対策等の緊急かつ対応の難しい課題に対しての保健師の役割強化が求められており、領域を問わずその対応が期待されている。中でも中堅期の保健師には、事業推進の中核的な役割と、新任教育を担える高度な能力が求められ、次期統括者の役割を担うための力量形成が必要とされている。中堅期の保健師活動が強化され、事業推進や新任教育において力を発揮することは、組織の活性化や質の高い保健サービスの提供につながっていく。

平成 21, 22 年度実施の「保健師の活動基盤に関する基礎調査」からは、とりわけ、市町村分野では現任教育を受ける機会が少ない傾向にあった。これらのことから、統括保健師の計画的な育成を含む現任教育体制の再検討が必要であるとし、本会では、平成 22 年度より、市町村の中堅期保健師の力量形成をねらった「中堅期保健師コンサルテーションプログラム」の開発、実施、評価、精練をしてきた。また、コンサルテーションプログラムの普及の方法と実施体制の検討を合わせて行ってきた。

平成 23 年度は、プログラム精練、実施、評価をし、中堅期保健師の力量形成に必要なプログラム内容が明確となり、プログラムの構築を図ることができた。

今後は、各都道府県単位でのプログラム実施に向けての普及を図っていく必要があることから、平成 24 年度は、プログラムの普及と実施体制の構築を目指し、プログラムでの指導者であるコンサルタントの育成を行い、さらなるプログラムの普及を目指す。さらに、統括保健師育成体制についても合わせて情報収集とその課題について検討し、保健師が専門性を発揮する基盤作りの形成に向けた提言につなげていくこととする。

2. 事業目的

中堅期保健師コンサルテーションプログラムの普及と実施体制の構築

3. 実施期間

平成 24 年 7 月～平成 25 年 2 月

4. 実施体制

事業開発部、中堅期保健師コンサルテーションプログラム(行政分野)検討委員会(委員 6 名 5 回/年)

5. 検討委員会での検討事項

以下の 3 点を諮問事項とする。

- ①中堅期保健師コンサルテーションプログラムの普及と実施体制の構築に関する検討
- ②中堅期保健師コンサルテーションプログラムコンサルタントの育成に関する検討
- ③統括保健師の育成のあり方等に関する検討

6. 事業の内容

1) 中堅期保健師コンサルテーションプログラムコンサルタントの育成

(1) コンサルテーションプログラムの開催

- ① 募集期間：募集期間：6 月 18 日(月)～7 月 13 日(金)

周知方法：協会ニュース、本会ホームページ掲載、保健師職能委員会・都道府県看護協会への依頼

- ② プログラム開催期間：平成 24 年 7 月～平成 25 年 2 月

- 開催日（事前会議 1 回/1 日間、プログラム 4 回/6 日間）

- コンサルタント候補者事前会議：平成 24 年 7 月 19 日（木）10:30-15:00
- 前期プログラム：平成 24 年 7 月 31 日（火）9:30-17:00、8 月 1 日（水）9:30-15:00
- 中期プログラムⅠ：平成 24 年 9 月 19 日（水）9:30-15:00
- 中期プログラムⅡ：平成 24 年 11 月 6 日（火）9:30-15:00
- 後期プログラム：平成 25 年 2 月 8 日（金）9:30-15:00、9 日（土）9:30-15:00
⇒終了後：コンサルタント候補者会議を開催

③ 場所：JNAホール

④ プログラムの実施体制

- コンサルタント：現任教育に熟練した有識者 6 名程度
- コンサルタント候補者：現任教育に熟練した有識者 10 名程度
- 参加者：実務経験 10～20 年程度の中堅保健師 15 名程度

⑤ コンサルテーションプログラムの内容

- 実践を軸とした保健師活動強化に焦点を当てたコンサルテーションプログラム。
- テーマは母子保健・生活習慣病予防・介護予防の 3 テーマ 3 グループとする。
- コンサルテーションは、1 グループごとに 2 名のコンサルタント(計 6 名)、5 名程度の受講者(計 15 名)で実施する。

⑥ コンサルタント候補者の達成目標とその達成手段等

達成目標		達成手段等
a.	都道府県の現任教育の現状を把握する	○都道府県の保健師現任教育担当者に事前にヒアリング等を行い、現状と課題を把握しておく。
b.	都道府県に必要な現任教育について検討・理解する	○各候補者が、予め把握した都道府県での現任教育の現状と課題を持ち寄り、コンサルタントを交えて、現状の共有や課題の討議等を行う。
c.	中堅期コンサルテーションプログラムの構造を理解する	○事前会議で「中堅期保健師コンサルテーションプログラム実施の手引き」に基づき、コンサルテーションの概要、コンサルタントの役割について説明を受ける。 ○事前会議で「コンサルタントに必要な力量」について説明を受けた後、コンサルタントに必要なコーチング等の技術に関する講義を受講する。 ○原則全 4 回のプログラム（前期、中期Ⅰ・Ⅱ、後期）に出席し、プログラムや受講者、コンサルタントの実際を見学し、コンサルタントと複数の受講者が生み出すグループダイナミクスが、受講者一人ひとりの学び・力量形成を支えているという、本プログラムの基本構造を体感する。
d.	都道府県でのコンサルテーションプログラム開催に向けて、行動計画策定・関係機関への働きかけを行う	○候補者が全 4 回のプログラムに参加する際には、適宜、講師を交えての振り返り（リフレクション）、候補者同士での意見交換などを行う。 ○候補者同士の相談・情報共有による刺激やコンサルタントの支援をうけることにより、都道府県でコンサルテーションプログラムが開催できる動機付けを得る。 ○新たな課題として、組織的な取り組みになるよう意識し、開催に向けた行動計画策定と関係機関への働きかけ（都道府県主管課及び都道府県看護協会等）について検討する。 ○実践結果については、プログラム最終日に行う「コンサルタント候補者会議」で共有・討議し、研修計画の実現に向けたプロセスを確認する。

※ 但し、政令指定都市・特別区・中核市などが対象となる方は、都道府県でなく、政令指定都市・特別区・中核市単位で構わない。

⑦ プログラム受講修了者の活用

プログラム受講者のアドバイザーや実践事例発表者にプログラム受講修了者を活用(保健指導ミーティングにも活用)

2) 統括保健師の育成のあり方等に関する検討

- 平成22年度・23年度の本プログラム受講者が、受講前後にどのような環境や経験や教育のプロセスを経てきているのか、また所属組織の統括保健師はどのような経歴等を経て、どのような役割を果たしているのか等の現状把握を行う。
- 上記の現状把握をふまえて、統括保健師になるためには、どのような環境や経験や教育のプロセスを経ることが必要かについて検討を行う。

※これまで本検討委員会で検討してきた、中堅期保健師(次期統括保健師)に必要な能力や経験のプロセスに関する検討や、「市町村保健活動のあり方に関する検討委員会」で検討された、統括保健師の定義、必要な能力等の検討結果をふまえて検討していく。「市町村保健活動のあり方に関する検討委員会」との合同委員会を開催することも想定する。

7. 費用

受講費：無料

旅費交通費：受講者は自己負担、コンサルタント候補者は本会負担

8. 修了証の発行

受講者には受講内容証明証と修了証を発行する

9. 成果の公表

報告書の作成、協会ニュース・本会公式ホームページでの成果等の公表

平成 23 年度
中堅期保健師コンサルテーションプログラム(行政分野)
募集要項

1. プログラムの目的・目標

目的 次期統括者の役割を担える中堅期保健師の育成

目標

- ・複雑かつ社会問題化した困難事例や新たな課題に対応するため、地域に潜在する健康課題を分析できる能力を高め、事業を展開するための実践力を向上する。
- ・地域・職域の健康課題に応じた事業を展開するなかから、その成果を新たな政策課題として提示できる能力を強化する。
- ・自組織において、中堅期保健師としての持てる力を組織で十分に発揮できるとともに、組織の活性化につながるような働きかけやシステムの改善・提案・構築ができる能力の向上を図る。
- ・共同で学び合うことを通して、保健師の専門性の経験知や保健師活動の真価を再認識することで、モチベーションの向上、保健師としてのアイデンティティの強化につなげる。

2. 対象

市町村に所属し、保健事業（介護予防事業含）に携わっている中堅期の立場にある保健師で、概ね 10 年～20 年程度の実務経験を有し、所属長の推薦を受けた者 35 名程度

※実務経験年数は、市町村に限らず保健師としての通算した実務経験年数で可

3. 実施期間・場所

- 1) プログラム実施期間：平成 23 年 8 月～平成 24 年 2 月
 - ・前期プログラム 平成 23 年 8 月 8 日(月) 9:30-17:30、9 日(火) 9:30-15:00
 - ・中期プログラムⅠ 平成 23 年 8 月 31 日(水) 9:30-17:00
 - ・中期プログラムⅡ 平成 23 年 9 月 30 日(金) 9:30-17:00
 - ・中期プログラムⅢ 平成 23 年 11 月 30 日(水) 9:30-17:00
 - ・後期プログラム 平成 24 年 1 月 27 日(金) 9:30-17:00、28 日(土) 9:30-15:30
- 2) 開催場所：公益社団法人 日本看護協会 JNAホール
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 Tel:03-5778-8504

4. 実施内容

1) プログラムの特徴

(1) テーマ設定

母子保健、生活習慣病予防、介護予防等の 3 テーマより、自組織における保健活動上の課題であり、実際に取り組むことができるもの 1 テーマを選択する。

(2) プログラム

- ① グループ構成：グループ力動の効果もねらい 4～5 名程度の編成とする。
- ② 形式：講義形式にとどまらずグループワークを多く実施し、さらに、実践的に展開し、実践力を培うものである。

(3) コンサルタントの配置

1グループに1名、保健師育成に熟練した実践者を配置し、専門的な観点から指導助言を行なう。

コンサルタント一覧

コンサルタント	
母子保健	中板育美（国立保健医療科学院生涯健康研究部／主任研究官）
	佐久間清美（愛知県立大学看護学部看護学科／教授）
生活習慣病予防	井伊久美子（日本看護協会／常任理事）
介護予防	堀井とよみ（日本看護協会／保健師職能委員会副委員長）
	宇田優子（新潟医療福祉大学健康科学部看護学科／准教授）

2) 受講者の実施事項

現任教育プログラムに参加した者は、以下の事項を実践する。

(1) 事前課題

- ・ 指定課題図書を読む。
- ・ 自己の選択したテーマにおいて、これまでの実践とその結果について、以下の視点で整理分析を行う。
 - ① 健康課題の根拠となるデータ等の整理分析
 - ② 法的施策的情報整理
 - ③ これまでの取り組み、関連事業の総括
- ・ 整理分析結果をもとに課題の抽出と実践計画(試案)を策定する。

(2) コンサルタントから指導助言を受けながら、実践計画(試案)を修正し、実践の見通しを立てる。

(3) 実践計画に基づいて以下の「能力強化のための実践」を自組織の仲間と共同で取り組む。

- ① 地域データ等の整理分析の精査
- ② 法的施策的情報整理
- ③ これまでの取り組み、関連保健事業の総括
- ④ 対象者聞き取り訪問と事例検討
- ⑤ 関係する機関、者への聞き取り訪問
- ⑥ 組織的活動計画・実践

※ コンサルタントから実践に伴う指導助言を受けながら、計画修正・実践・評価をする。

- (4) 計画・実践・評価について、資料化し、それらをもとに発表・討議する。
- (5) 自組織での政策提言を行う。
- (6) 成果の公表や、関連する本会事業推進について協力する。

3) その他

参加者には受講内容証明証と修了証を発行する。

5. 募集及び選考方法

1) 募集期間：6月20日(月)～7月1日(金)12:00 必着

2) 応募資格

受講者は以下の要件を満たしていることを条件とする。(看護協会会員・非会員は問わない)

- (1) 現在、市町村に所属し、保健事業(介護予防事業含)に携わっていること
- (2) 保健師実務経験を10年～20年程度を有する者
- (3) 所属の理解が得られ、プログラム実施期間を通じて継続参加できること
- (4) 自組織での組織的な実践が可能な協力体制が得られること
- (5) これまでや現在で、事業の総括やリーダー的役割を担った経験があること
- (6) 自組織で、今後、次期統括者としての役割を担っていこうとする意志があること
- (7) 本プログラムでの計画、実践、成果の記録やデータ等の提出ができること

6. 成果の公表や学会発表、取材対応等

- 1) 本事業の普及啓発をねらい、成果の公表や学会発表、マスコミ等の取材には積極的に対応していただく
- 2) 発表時期は成果報告書提出後（平成24年4月以降）とする
- 3) 日本看護協会の「平成23年度保健師活動強化コンサルテーション事業」として実施した旨を明示すること
- 4) 本事業の実施年度途中に取材を受ける場合は、本会事務局に事前連絡すること

7. 費用

受講費無料、参加のための旅費交通費は自己または所属自治体負担

8. 応募方法

1) 応募書類の提出

応募希望者は、応募書類一式（様式1－3）を整えて期日までに以下申請書類の提出先住所に送付する。

※応募書類は、日本看護協会公式ホームページ（<http://www.nurse.or.jp/>）よりダウンロードする。

2) 応募期間（締切）

平成23年7月1日（金）12:00 必着

3) 送付先

封筒に「中堅期保健師現任教育プログラム(行政分野)応募」と朱書し、以下住所に郵送する。

公益社団法人 日本看護協会 事業開発部 保健師活動強化コンサルテーション事業担当
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2

9. 選考結果の通知および発表

- 1) 決定者には、申請者・所属長あてに文書で通知する。
- 2) 選外者に対しては、申請者本人のみに文書で通知する。
- 3) 結果通知は、平成23年7月下旬迄の発送を予定する。

※備考：応募者の中から、書類審査を行い決定する

【選考基準】

- ①応募資格の要件を満たしていること
- ②志望動機が明確であること
- ③実践上の課題を持ち、解決に向けて取り組む意欲があること
- ④推薦者の推薦理由が明確であること

【問合せ先担当部署・担当者】

公益社団法人 日本看護協会 事業開発部
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2
TEL:03-5778-8549 FAX:03-5778-5602
E-mail: jna-phn@nurse.or.jp

中堅期保健師コンサルテーションプログラム(行政分野)

① 事前課題

- 課題図書を読む
- **テーマ別の最新の動向(知識・技術・関連法・社会情勢等)を調べる**
- 「実践内容記入シート」の記入
- 「実践計画記入シート」の記入
- 「個人評価チェックシート」の記入



② 前期プログラム 8月8日(月)、9日(火)

<目標>

- 保健活動推進のために、必要な知識や技術を習得する
- 課題テーマとする健康課題を構造的に捉え直すことができる
- 保健活動実践を進めるための計画を作成し、活動の見通しをたてる
- 中堅期保健師に求められる力量が自覚できる

8月8日(月) 9:30-17:30 (7時間)【前期プログラム 1日目】

	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10	(開場)			
全体	9:25-9:30		オリエンテーション		
	9:30-9:35		開会・関係者紹介	日本看護協会／事業開発部	
	9:35-9:50 (15分)	挨拶	挨拶	日本看護協会／会長 坂本すが	
	9:50-10:05 (15分)	挨拶	保健師の現任教育について	厚生労働省健康局総務課 保健指導室 室長補佐 石原美和	
	10:05-11:05 (60分)	講義	保健師活動強化コンサルテーション事業について ・ コンサルテーションプログラムの目的 ・ 中堅期保健師の役割 ・ コンサルテーションプログラムの進め方	日本看護協会／常任理事 井伊久美子	中堅期保健師に求められる役割を理解し、本コンサルテーションプログラムの目的と、進め方が理解できる
テーマ別	11:05-12:00 (55分)	グループワーク	受講者の自己課題と計画紹介 (自己評価チェックシートの確認含む) (7分×3～4名) 助言	受講者 コンサルタント	各参加者の問題意識と課題について共有する
	12:00-13:00 (60分)	(昼食)			
全体	13:00-13:40 (40分)	講義	母子保健活動 (講義+質疑応答)	国立保健医療科学院生涯健康研究部／主任研究官 中板育美	○公衆衛生看護を基盤としたテーマ別の専門能力の強化 ・ テーマ別の最新の動向を知る ・ 中堅期保健師としての必要な知識と技術の習得 ・ 自己の課題が認識できる
	13:40-14:20 (40分)	講義	メンタルヘルス活動 (講義+質疑応答)	愛知県立大学看護学部看護学科／教授 佐久間清美	
	14:20-14:30 (10分)	(休憩)			
	14:30-15:10 (40分)	講義	生活習慣病予防活動 (講義+質疑応答)	日本看護協会／常任理事 井伊久美子	
	15:10-15:50 (40分)	講義	介護予防活動 (講義+質疑応答)	日本看護協会／ 保健師職能委員会副委員長 堀井とよみ	
	15:50-16:00 (10分)	(休憩)			

	16:00-17:30 (60分)	講義 グループ ワーク 全体討議	災害時の保健師活動 ・災害時の保健師活動(全般)(30分) ・災害時における市町村保健師の役割 (30分)	日本看護協会／常任理事 井伊久美子 新潟医療福祉大学健康科学 部看護学科／准教授 宇田優子	
	17:30		2日目の予定について	事業開発部	
	課外	個別 作業	実践計画の見直しと修正		習得した情報や知識を実践計画 に反映することができる
8月9日(火) 9:30-15:00(4.5時間)【前期プログラム 2日目】					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10		開場		
	9:25-9:30		オリエンテーション		
全体	9:30-10:30 (60分)		実践事例発表	肝付町地域包括支援センター/ 能勢 佳子 枚方市健康部 保健センター/ 橋本美弥子	実践を進めるためのイメージを 共有でき、保健活動実践の見通し がたてられる
テーマ別	10:30-12:00 (90分)	グループ ワーク	各自の実践計画の修正 各自の実践計画の修正点について のディスカッション	受講者 コンサルタント	1日目の講義で習得した内容とグ ループディスカッションを通し て自分の実践計画に反映させる
	12:00-13:00		昼食		
全体	13:00-13:15 (15分)	発表	実践計画の発表 ・母子保健1人 発表7分 助言8分	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	他者の発表を聞き実践計画の実 施にむけ、具体的な実践のイメー ジができる
	13:15-13:30 (15分)	発表	実践計画の発表 ・生活習慣病予防1人 発表7分 助言8分		
	13:30-13:45 (15分)	発表	実践計画の発表 ・介護予防1人 発表7分 助言8分		
テーマ別	13:45-14:45 (60分)	グループ ワーク	各自の実践計画の再修正 質疑応答・助言	受講者 コンサルタント	自己の実践計画に対してのコン サルタントからの助言を受ける ことで、地域の健康課題に対応し た中堅期保健師としての役割や 課題をふまえた計画に修正でき る
全体	14:45-15:00 (15分)	講義	事務連絡・アンケート	日本看護協会 事業開発部	



③ 実践の場(8月)

<目標>

○テーマの健康課題を構造的に捉え直す

- ・ 担当する地域の健康に関するデータ等の整理・課題分析
- ・ 法的施策的情報整理
- ・ これまでの取り組み・関連事業の総括



課題提出：8月23日(火)12:00 提出〆切



④ 中期プログラムⅠ 8月31日(水)

<目標> ○ 自己の実践経過をまとめ、今後の活動計画とその実践について見通しをたてる					
8月31日(水) 9:30-17:00 (6.5時間)					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10		(開場)		
全体	9:25-9:30		オリエンテーション・関係者紹介		
	9:30-9:40 (10分)	講義	本日のコンサルテーションプログラムについて	日本看護協会／常任理事 井伊久美子	
テーマ別	9:40-12:00 (140分)	グループ ワーク	・ 実践内容の発表 実践の振り返り 困難点や疑問点のまとめ ・ 質疑応答	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	・ 参加者同士の課題や方向性を共有する ・ 他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	12:00-13:00 (60分)		(昼食)		
全体	13:00-14:00 (60分)	発表	実践計画・実践内容の発表 ・ 母子保健(10分×1名) 10分質疑 ・ 生活習慣病(10分×1名) 10分質疑 ・ 介護予防 (10分×1名) 10分質疑	発表者：各テーマからの 代表者 助言者：コンサルタント	・ 他分野の実践事例を全体で共有する ・ 他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	14:00-14:10 (10分)		(休憩)		
全体	14:10-15:10 (60分)	グループ ワーク 意見交換 助言	意見交換(実践を通して中堅期としての自己を振り返る) ・ 各グループでの意見交換 ・ 全体での意見交換 ・ オブザーバーからのコメント	進 行： 日本看護協会／常任理事 井伊久美子	・ 前期プログラム開始から現在までの実践を振り返り、中堅期保健師として自己を振り返る
	15:10-15:20 (10分)		(休憩)		
テーマ別	15:20-16:50 (90分)	グループ ワーク	コンサルテーション	助言者：コンサルタント	・ 保健活動推進にあたり出現する困難点・疑問点の解消を図る ・ 他者との意見交換を通じ実践の方向性の確認をする
	16:50-17:00 (10分)		事務連絡		



⑤ 実践の場(9月)

<目標> ・ 家庭訪問や面談を実践し、課題テーマの健康課題を構造的に捉え直す ・ 当事者聞き取り訪問と事例検討 ・ 関係する機関、者への聞き取り訪問 ・ 組織的活動計画・実践(関係職種と連携した保健師活動の実践)	
--	--



課題提出：9月21日(水)12:00 提出〆切



⑥ 中期プログラムⅡ（各テーマ別コンサルテーション）9月30日（金）

<目標> ○ 自己の実践経過をまとめ、今後の活動計画とその実践について見通しをたてる					
9月30日（金） 9:30-17:00 （6.5時間）					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10		（開場）		
全体	9:25-9:30		オリエンテーション		
	9:30-9:50 （20分）	講義	本日のコンサルテーションプログラムについて	日本看護協会／常任理事 井伊久美子	
テーマ別	9:50-11:50 （120分）	グループワーク	・ 実践内容の発表 実践の振り返り 困難点や疑問点のまとめ ・ 質疑応答	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	・ 参加者同士の課題や方向性を共有する ・ 他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	11:50-12:50 （60分）		（昼食）		
全体	12:50-13:50 （60分）	発表	実践計画・実践内容の発表 ・ 母子保健（10分×1名）10分質疑 ・ 生活習慣病（10分×1名）10分質疑 ・ 介護予防（10分×1名）10分質疑	発表者：各テーマからの代表者 助言者：コンサルタント	・ 他分野の実践事例を全体で共有する ・ 他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	13:50-13:55 （5分）		（休憩）		
全体	13:55-14:55 （60分）	講義	実践事例発表	奈良市保健所健康増進課 永松 晶子 竹田市役所健康増進課 内柳 知恵美	実践を進めるためのイメージを共有でき、保健活動実践の見通しがたられる
	14:55-15:00 （5分）		（休憩）		
テーマ別	15:00-16:50 （110分）	グループワーク	コンサルテーション	助言者：コンサルタント	・ 保健活動推進にあたり出現する困難点・疑問点の解消を図る ・ 他者との意見交換を通じ実践の方向性の確認をする
	16:50-17:00 （10分）		事務連絡		



⑦ 実践の場（10月～11月）

<目標> ○ 軌道修正した活動計画に基づき保健活動を継続実践する ○ 評価の方向性と評価に必要なデータ収集について見通しを立てる



課題提出：11月21日（月）12:00 提出〆切



⑧ 中期プログラムⅢ(各テーマ別コンサルテーション) 11月30日(水)

<目標> ○ 自己の実践経過をまとめ、今後の活動計画とその実践について見通しをたてる					
11月30日(水) 9:30-17:00 (6.5時間)					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10		(開場)		
全体	9:25-9:30		オリエンテーション		
	9:30-9:50 (20分)	講義	本日のコンサルテーションプログラムについて	日本看護協会／常任理事 井伊久美子	
テーマ別	9:50-12:00 (130分)	グループ ワーク	・ 実践内容の発表 実践の振り返り 困難点や疑問点のまとめ ・ 質疑応答	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	・ 参加者同士の課題や方向性を共有する ・ 他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	12:00-13:00 (60分)		(昼食)		
全体	13:00-14:00 (60分)	発表	実践計画・実践内容の発表 ・ 母子保健(10分×1名) 10分質疑 ・ 生活習慣病(10分×1名) 10分質疑 ・ 介護予防 (10分×1名) 10分質疑	発表者：各テーマからの 代表者 助言者：コンサルタント	・ 他分野の実践事例を全体で共有する ・ 他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	14:00-14:10 (10分)		(休憩)		
全体	14:10-15:10 (60分)	講義	保健活動の企画・実施・評価～保健活動の可視化を目指して～	国立保健医療科学院生涯健康研究部／主任研究官 中板育美	実践経過を総括・評価(企画評価、実施評価、結果評価)する方法が理解でき、実践の成果と新たな課題を提示し、政策提言ができる能力を強化する
	15:10-15:20 (10分)		(休憩)		
テーマ別	15:20-16:50 (90分)	グループ ワーク	コンサルテーション	助言者：コンサルタント	・ 保健活動推進にあたり出現する困難点・疑問点の解消を図る ・ 他者との意見交換を通じ実践の方向性の確認をする
	16:50-17:00 (10分)		事務連絡		



⑨ 実践の場(12月～1月)

<目標> ○ 軌道修正した活動計画に基づき保健活動の継続実践する ○ 評価の方向性と評価に必要なデータ収集について見通しを立てる



課題提出：1月17日(火)12:00 提出〆切



⑩ 後期プログラム 1月27日(金)、28日(土)

<目標> ・ 自己の実践を振り返り中堅期保健師としての力量形成につながった要件を明確にする ・ 実践経過を総括・評価しその成果と新たな政策課題を提案することができる能力を強化する					
1月27日(金) 9:30-16:00(5.5時間)【後期プログラム 1日目】					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10		(開場)		
	9:25-9:30		オリエンテーション		
全体	9:30-10:30 (60分)	講義	本プログラムの実践プロセスの意義の再確認と「聞き取り訪問」での個別事例からの読み取りについて	日本看護協会／常任理事 井伊久美子	本プログラムの実践プロセスの意義の再確認と「聞き取り訪問」を通じた個別事例からの読み取りについて
	10:30-10:40 (10分)		(休憩)		
テーマ別	10:40-12:00 (80分)	グループワーク	活動成果の発表と共有(グループワーク1) ・ 活動成果発表 実践の振り返り(総括と評価) ・ 質疑応答 ・ コンサルテーション	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	・ 参加者同士の活動成果や今後の方向性を共有する ・ 他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	12:00-13:00 (60分)		(昼食)		
テーマ別	13:00-14:00 (60分)	グループワーク	活動成果の発表と共有(グループワーク2) ・ 活動成果発表 実践の総括と評価から、自組織への政策提言もしくは今後の「組織的活動計画・実践」の内容は見てきたか。それがみえた体験(実践や結果)とはなんであったか。政策提言につなげるためには、今後更に何が必要か。 ・ 質疑応答 ・ コンサルテーション	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	・ 実践経過を総括・評価(企画評価、実施評価、結果評価)し、その成果と新たな課題を提示し、政策提言ができる能力を強化する
	14:00-14:10 (10分)		(休憩)		
全体	14:10-16:00 (110分)	発表	活動成果の発表 (自組織への政策提言のプレゼンテーション) ・ 母子保健(10分×2名+10分質疑・助言) ・ 生活習慣病(10分×1名+10分質疑・助言) ・ 介護予防(10分×2名+10分質疑・助言)	発表者：各グループからの代表者 助言者：コンサルタント	・ 参加者同士の活動成果や今後の課題や方向性を共有する ・ 他者の発表を通して自己の実践を振り返る
1月28日(土) 9:30-15:30(5.0時間)【後期プログラム 2日目】					
	9:10		(開場)		
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:25-9:30		オリエンテーション		
全体	9:30-10:10 (40分)	講義	保健師業務の現状と課題	日本看護協会／常任理事 井伊久美子	
テーマ別 全体	10:10-12:00 (110分)	個人ワーク グループワーク	コンサルテーションプログラムでの6ヶ月間の実践内容を振り返り、「保健師に必要な能力は何か」を本プログラムでの実践を通して改めて考える。	(進行) コンサルタント	自己の実践を振り返り中堅期保健師としての力量形成につながった要件を明確にする

		発表 全体討議	①「能力強化のための活動」で自分が実施したこと、その意味、そこから得た中堅期保健師としての学びを振り返る。 ②「能力強化のための活動」で自分が実施できなかったこと、その理由、そこから得た中堅期保健師としての学びを振り返る。 ・ 個人ワーク（15 分） ・ グループワーク（20 分） ・ 全員発表（1 人 2 分＝30 分） ・ 全体討議（45 分）		「保健師に必要な能力は何か」を自己の実践を通して改めて考え、言語化することで、自己の保健師像を確立し、モチベーションの向上やアイデンティティの強化につなげる
	12:00-13:00 (60 分)	(昼食)			
テーマ別 全体	13:00-13:50 (50 分)	発表 全体討議	今後の継続的な研鑽をどう進めるか ①自分が実施できなかったことを実施するためにはどのようなことが必要か。 ②研修後もモチベーションを維持していくためにはどのようなことが必要か ③保健師としての力量形成のためにはどのような研鑽が必要か ・ 全員発表（1 人 1 分＝15 分） ・ 全体討議（35 分）	(進行) コンサルタント	自己の実践を振り返り中堅期保健師としての力量形成につなげた要件を明確にし、今後の自己の力量形成に必要な研鑽のあり方について見通しを立てることができる
	13:50-14:00 (10 分)	(休憩)			
全体	14:00-14:40 (40 分)	助言	中堅期保健師コンサルテーションプログラム検討委員よりコメント	「中堅期保健師コンサルテーションプログラム検討委員会」委員	
	14:40-15:30 (50 分)	総評	総評 コンサルタントより 10 分×5 名	コンサルタント	
	15:30	(閉会)			



最終課題の提出 2 月 3 日(金)12:00 提出〆切



修了証の発行



合同拡大会議(成果報告) 3 月 3 日(土)